

郷土かるた



海老名郷土かるたは、海老名の史跡や歴史などを詠み込んでいる昭和52年発行のいろはかるたです。今回は、ことしの干支にちなんだ「た」「つ」の2札と、いろはかるたの最初の4札を紹介します。なお、このかるたは、市役所地下売店にて1組1000円で販売中。わたしたちのまちを知るきっかけのひとつとして、ご活用ください。

い 今泉 古墳群ある 秋葉山

秋葉山古墳群は、5基の古墳からなる古墳群で、2号墳に秋葉社が祭られていたことから秋葉山と呼ばれ、これが古墳群の名称となりました。2号墳頂上は、標高84・6mで、市内最高峰です。

は 長谷川氏 墓石ずらりと 浄久寺

浄久寺は、今川義元に仕えた長谷川正長（1536～1572）の子、長谷川正成（？～1638）が、寛永2年（1625）に門沢橋村を本貫地としたことから、菩提寺として建立されたと伝えられています。

ろ 六刀碑 武士すてさりて 農となる

江戸時代の初め、中新田に居を構えていた幕府旗本の高木主水正清秀。子の政次の代に国替えとなった際、家臣の6氏はこの地にとどまり、近くの森に刀を納めて土着、農業に転じました。これを後に残すため、子孫が建立したのが六刀碑です。

に 尼寺跡に 庚申塔と ひがん花

天平13年（741）の国分寺建立の詔によって建立された寺院。発掘調査によって金堂跡、経蔵跡、鐘楼跡、回廊跡などが見つかかり、国指定史跡となっています。

た 玉椿 咲かずに落ちる 地蔵堂

つ 釣鐘は 国分季頼の 銘残す

約300年前、江戸に住む母と病を持つ娘が御典医・半井驢庵を訪ねてやってきましたが、診察を受けることもなく娘は、病気が悪化して亡くなりました。村人が弔いのために地蔵堂を建て、傍らに椿を供えたところ、若くして亡くなった娘を悼むかのように、椿の花がつぼみそのまま咲かずに散ってしまうようになったため「玉椿」と呼ばれています。

海老名氏一族である国分季頼（源季頼）が正応5年（1292）に国分尼寺に寄進したものです。作者は、銘文から鎌倉円覚寺や金沢の称名寺などの釣鐘を手がけた名工・物部国光とされています。



小学生のみんな、集まれ〜！ 「新春ジャンボかるた大会」を開催します

園社会教育課 ☎(235)4925

「郷土かるた」のジャンボ判（縦91センチ・横76センチ）を取り合いながら、海老名の歴史を楽しく学びます。かるたを取った方には賞品を進呈するほか、参加者全員に記念品を配布します。また、当日は紙パックを使った工作教室やこま回しの体験も行います。

▼日時 1月14日(土)9時～12時
▼会場 杉久保小学校校庭・体育館
▼対象・定員 市内在住の小学生と未就学児・先着200人（未就学児は要保護者同伴）
▼持ち物 室内履き
▼その他 駐車場はありません。徒歩または公共交通機関（バス停「杉久保小学校前」下車）をご利用ください。
▼申し込み 1月11日(水)までに、直接または電話で社会教育課へ。

擬木柱（ぎぼくちゆう）は、かるたの読み札が書かれた柱のことで、郷土かるたに詠まれているゆかりの地に建てられているものです。歴史に思いをはせながら、えびな散策はいかがですか？

た 玉椿 咲かずに落ちる 地蔵堂

【所在地】杉久保南4-262-1 椿地蔵バス停付近

つ 釣鐘は 国分季頼の 銘残す

【所在地】国分南1-25-38 相模国分寺内

※郷土かるたの箱には、ゆかりの地をめぐるコース案内が入っています。